

横浜市庁舎建設タイムズ

～建物の基礎となる杭工事を進めています～

第2号

平成29年11月

発行：横浜市総務局新市庁舎整備担当、建築局新市庁舎整備担当
作成編集協力：竹中・西松建設共同企業体



大岡川沿いの仮囲いに華やかなアート作品を装飾！

作品は横浜美術大学の学生が「横浜・水・未来」をテーマに作成しています。
平成31年までに段階的に増えていく予定です。(現時点では37作品)

計画のポイント①

第2号では、
新市庁舎の景観・配置計画
について紹介します



■ 景観形成の考え方

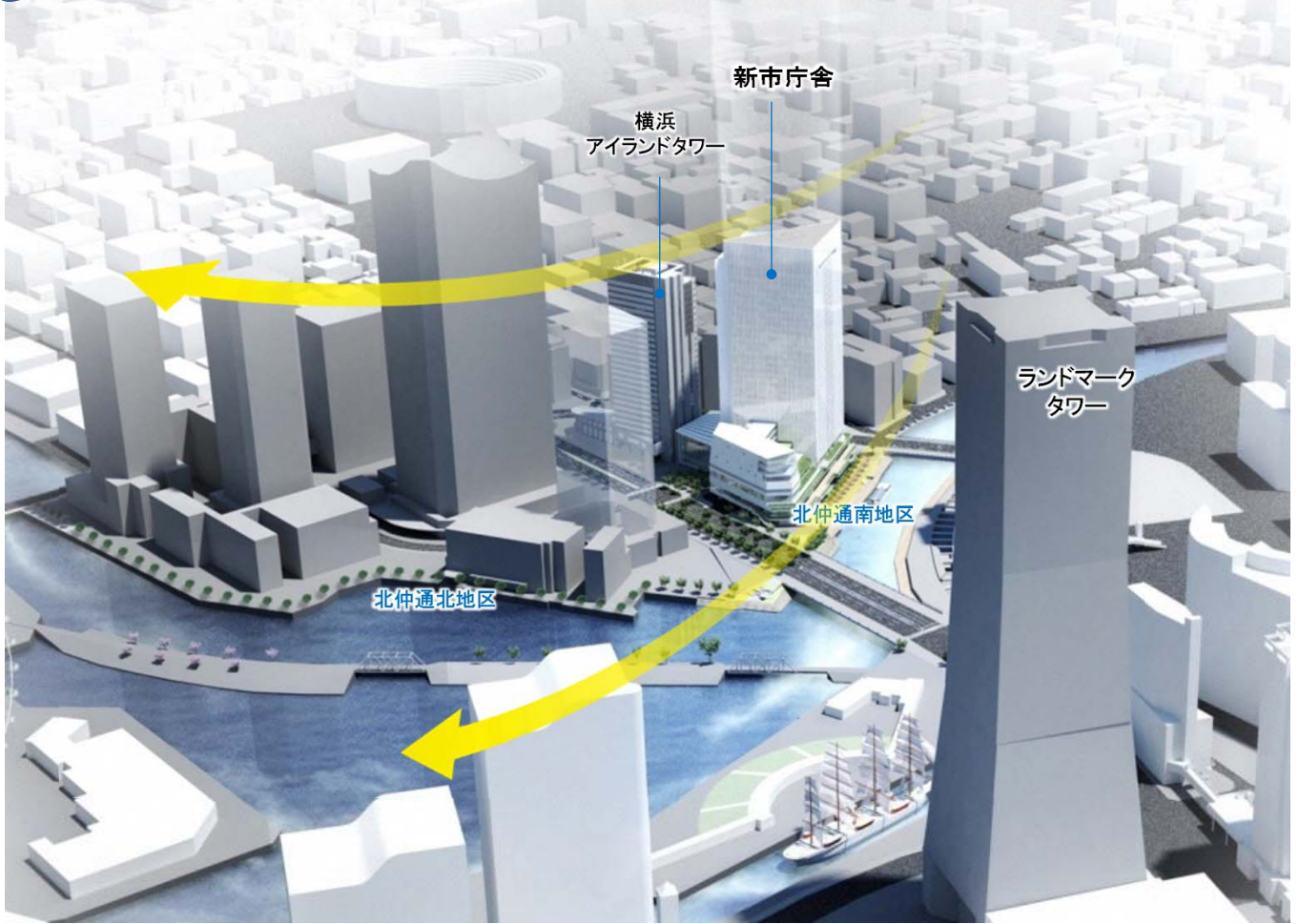
高層棟を2つのボリューム（155mと140mの高さ）に分割
横浜アイランドタワーと連続する群景観を創出

1. 周りの街並みのスケール・軸線に配慮した建物配置と空間構成
2. ボリューム分割による横浜アイランドタワーとの連続と北仲通地区としてまとまりのある群景観の創出
3. 三角形の敷地の3つのオープンスペースに印象的な景観を形成する建築デザイン
4. 北仲通北地区と南地区の低層棟と高層棟で作り出す街並みのゲート性に配慮

計画のポイント②

遠景

北仲通地区の高層建築群の一部として、調和のとれた群景観を形成



中景

北仲通北地区の高層棟や基壇部と対をなす
新市庁舎のデザイン



近景



計画のポイント③

■ 高層部外装計画

白さのアンサンブルで垂直ラインを構成し、
方角によって表情を変えながら
“シルクのような質感”を表現しています

透明

半透明

不透明

シングルスキン
カーテンウォール
(クリア)

ダブルスキン
カーテンウォール
(クリア)

シングルスキン
カーテンウォール
(セラミックプリント)

ダブルスキン
カーテンウォール
(セラミックプリント)

アルミパネル

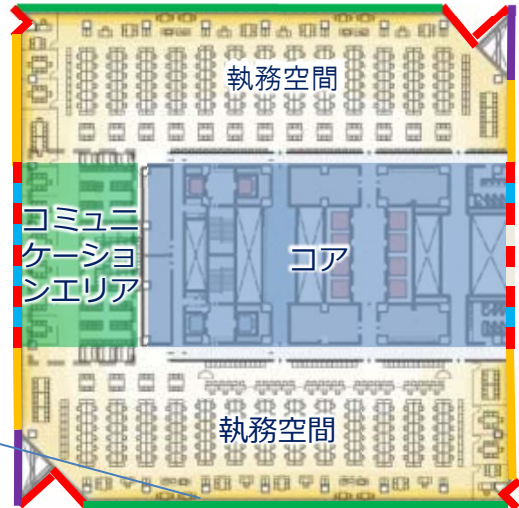


外部側：セラミックプリント合わせガラス
内部側：LOW-Eペアガラス

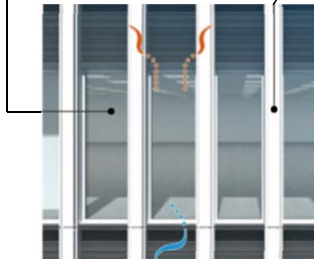


東西外装立面図

セラミックプリントのイメージ



外部側：合わせガラス
内部側：LOW-Eペアガラス



南北外装立面図

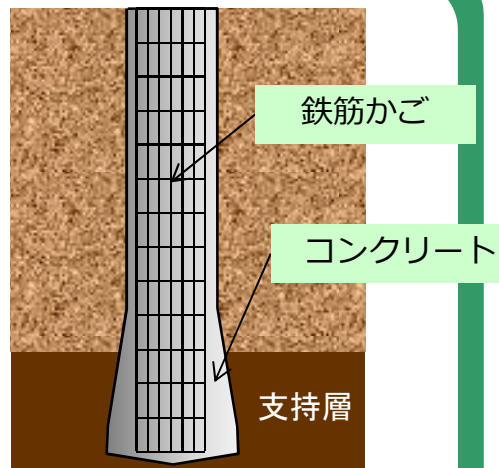
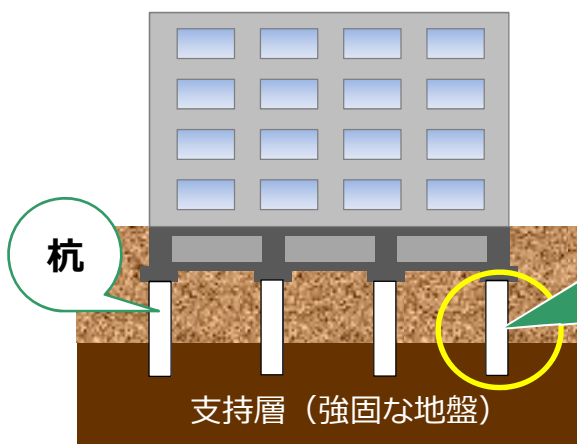


現場レポート①

今回は、8月から進めている場所打ち杭・構真柱工事の様子をお伝えします。

■「杭」の役割は？

固い地盤に構造物の荷重を伝えて、構造物を支える役割をしています。



【杭の拡大イメージ】

■場所打ち杭・構真柱工事の流れ（1）



①掘削

まず、掘削機を使って所定の深さまで穴を掘り下げます。



②鉄筋かごの建て込み

掘り下げた穴の中に「鉄筋かご」を入れていきます。

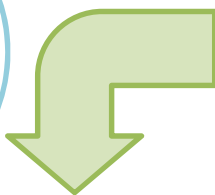
次ページへ

■ 場所打ち杭 ・ 構真柱工事の流れ（２）

③ 構真柱の建て込み

掘り下げた穴の上に、「構真柱架台」を建て、鉄筋かごのに入った穴の中に「構真柱」を建て込んでいきます。

構真柱については、次ページで
ご紹介します。



構真柱架台

構真柱



生コン車

コンクリート
ポンプ車

④ コンクリート打設

最後に鉄筋かごと構真柱が入った穴に、「コンクリートポンプ車」を使ってコンクリートを打ち込みます。

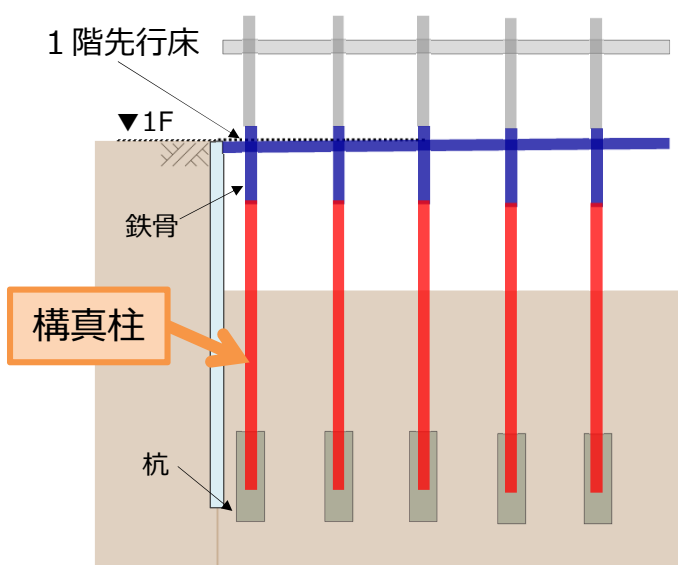
新市庁舎建設には、杭が148本
(そのうち場所打ち杭は118本)
も施工されます！

次号以降も現場の状況
をお伝えします。
お楽しみに！

建築ちよこつと
知つとこ!

■ 構真柱って何？

杭施工時に杭の中に一緒に建て込む鉄骨
のことで、[横浜市庁舎建設タイムズ第1号](#)
でご紹介した「逆打工法」で先行して施工
する1階の床やそれを支える梁などを支え
るものです。



【1階先行床等を支える構真柱イメージ】

※逆打工法…1階先行床を先に施工することで、
地下と地上工事を同時に施工する工法です。

PR

『新市庁舎建設情報』のWEBページでは、毎月の現場の状況を
航空写真で紹介しています。ぜひ、チェックしてみてください！

➤ [新市庁舎建設情報](#)

～お問い合わせ窓口～

横浜市総務局総務部管理課新市庁舎整備担当

建築局公共建築部施設整備課新市庁舎整備担当

〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1横浜アイランドタワー17階

E-mail: so-chosyaplan@city.yokohama.jp TEL: 045-633-3912 FAX: 045-664-2501

URL: <http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kanri/newtyosya/>